

平成29年度第2回国立大学法人静岡大学経営協議会（メール審議）議事録

日時 平成29年6月7日（水）～9日（金）メール審議

出席者 泉、伊藤、大石、岡部、川勝、塩田、杉田、野田、晝馬
石井、丹沢、木村、東郷、堀川、寺村、本橋、鈴木の各委員

I 審議事項

1 平成30年度施設整備費補助金概算要求事項について

議長から、平成30年度施設整備費補助金概算要求事項について、別紙資料により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

（学外委員から出された主な意見）

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：現状の大学経営についてコストの削減は課題となっているところだと認識している。その上で、電力配線・空調設備・給水設備の改修において、発注する事業者の選定方法と発注先に関してどのようにしているのか。

△：ご指摘の通り、基盤的経費である運営費交付金の削減が続く中、大学経営に係るコスト削減は、極めて重要なことであると認識している。

国立大学法人の工事発注は、公共工事として取り扱われており、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」を遵守するとともに、本学の「国立大学法人静岡大学会計規程」に基づいて、適切な価格となるよう工事契約を執行している。

具体的には、電力配線・空調設備・給水設備の改修に限らず、原則として、工事発注を行う際には、大学や文部科学省のホームページに入札公告を掲載し、参加業者を広く募る競争入札により、受注者を決定している。

なお、審議いただいた案件は、平成30年度の施設整備の要求事項であり、文科省による事業選定が行われた後、上記の手段を進めるとともに、コスト縮減という観点においても、事業内容の精査や新技術の導入等によるコスト縮減に努め、入札による適切な価格競争を行うこととしている。